

# 2022年の記憶

2022年の宮古島は、  
どんな年だったのか？  
主な出来事を振り返ります！

## 小林陵侑選手 オリンピック金メダル



宮古島市で毎年合宿を行っているスキージャンプの小林陵侑選手が、2月に開催された北京オリンピックで金メダルを受賞しました。小林選手、感動をありがとうございます！

## 大神航路新造船就航



新しい定期船『ウカンかりゆず』が3月に就航しました。バリアフリー化や座席数の増設、トイレの設置などが施され、より快適に利用できるようになりました。

## 認可保育所の待機児童数ゼロ

令和4年4月1日時点での認可保育所待機児童数が初めて「待機児童ゼロ」になりました。今後も国や県と連携し、受入体制の充実を図っていきます。

## 宮古島沿岸海域が国定公園候補に選定



6月に八重干瀬を含む宮古島沿岸海域が、次の世代へ守り伝えていくべき自然景観として国が指定する、国定公園の候補に選定されました。

## 宮古総合実業高校珠算部 県勢初の九州大会準優勝

7月に大分県で開催された「第74回全九州高等学校ビジネス計算競技大会」で、宮古総合実業高校珠算部が県勢初の九州大会準優勝の快挙を達成しました。

## 羽田 - 下地島線 搭乗者数10万人達成

令和2年10月に就航した羽田 - 下地島線の累計搭乗者数が、7月に10万人を達成しました。新たなアクセス手段として、島内外の利用者から大きな好評を得ています。

## 沖縄県畜産共進会団体賞 2年連続受賞



家畜の改良や飼養管理技術の向上の成果を競う、第48回沖縄県畜産共進会が11月に開催され、宮古島市が2年連続で団体賞を受賞しました。

## 日本復帰50周年記念事業の開催



日本復帰50周年の記念事業として、沖縄県で初の国民文化祭が実施されました。宮古島市でも詩（ことば）の祭典をはじめ、多くの文化イベントが開催されました。



宮古島市教育委員会  
教育長 大城 裕子

# 2023年 新年のごあいさつ



可能性を引き出す教育を目指して

新年明けましておめでとう、ございます。市民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は宮古島の教育の充実・発展のために格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。2022年は新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、学校行事をはじめ様々な活動や文化・スポーツイベント等が再開され、学校にも地域にも少しずつ活気が戻ってまいりました。本年も引き続き感染予防を呼びかけ対策を講じながら、子ども達の学びや諸活動を止めることのないよう努めてまいります。

また、昨年は沖縄が日本復帰して50年となる節目の年でした。その節目の年に「文化芸術の花咲いたたり」をテーマに「美ら島おきなわ文化祭2022」（第37回国国民文化祭・第22回全国障害者芸術・文化祭）が開催され、島々の鼓動、人々の輝き、限らない沖縄の可能性が引き出され、県内外に発信された年となりました。本市も独自事業等に取り組み、イベントを通して多くの市民に改めて宮古の文化に触れていただくと同時に宮古文化への理解を深め、魅力を再認識する機会を提供できたものと存じます。

子ども達には宮古の豊かな自然の中で独自の文化に触れながら心身共に健康で「超スマート社会(Society 5.0)」

を逞しく生きてほしいという思いを込め、第3次宮古島市教育ビジョン（教育振興基本計画）では、基本理念として「郷土の自然と文化に誇りを持ち、心豊かで主体性、創造性、国際性に富む人材の育成と生涯学習の振興」を掲げました。令和5年度から段階的にコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入し、地域との連携・協働により子どもたちを共に育ていく環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。多様化、複雑化する教育課題を学校や行政だけでなく、市民の皆様のお力もお借りしながら、改善におむけて、取り組ませていただきたいと存じます。宮古の将来を担う子ども達を市を挙げて育ててまいります。

新学習指導要領では、「生きる力」を育むことが理念に掲げられておりますが、まさに、今回のコロナ禍がもたらした予測困難な状況の中で、自ら考え、暮らした地域社会を守るために能力を発揮できる人材を育成することがいかに急務であるかを再認識いたしました。子ども達の可能性を引き出す教育を目指すとともに、安心して子育てができる環境づくりの一環として、学校給食費無償の継続、選手派遣費補助事業の拡充にも取り組み、さらなる教育環境の充実に努めてまいります。同時にこれまで取り組んできた、確かな学力の向上、ICT活用の推進、幼小中連携、特別支援教育の充実にもさらに力を入れ、子ども達の学習環境の整備や教職員の働き方改革にも引き続き取り組んでまいります。

文化振興については国指定重要文化財「宮古

上布」の後継者育成や魅力発信、宮古馬の保存・活用に加え、八重干瀬の保全と利活用に向けても取り組んでまいります。社会教育ではスポーツ振興は勿論のこと、全ての市民が生涯にわたって学び続けられる環境を整えるために、図書館や公民館、総合博物館、歴史文化資料館等の施設を活用した各種講座の充実を図るとともに文化財の保護と活用も推進してまいります。

本年も家庭、学校及び地域連携のもと、子ども達を育み、市民の心豊かな暮らしを支えられるよう努めてまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が市民の皆様にとりまして明るく希望に満ちた幸運な年となりますよう心から祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

- 宮古島市教育委員会
- 教育長 大城 裕子
- 教育長職務代理者 中尾 忠彦
- 委員 下地 一美
- 委員 前泊 直子
- 委員 平良 智枝子